

令和6年度札幌市アイヌ施策年次報告書

札幌市

令和 6 年度アイヌ施策推進費の概要

札幌市においては、令和 3 年 3 月に策定した「第 2 次札幌市アイヌ施策推進計画」に基づき、基本理念である「アイヌ民族の誇りが尊重されるまちの実現」を図るため、以下の施策目標を定め、アイヌ施策推進法の基本理念などを踏まえながら、関係機関等と連携を図り、各種のアイヌ施策を実施している。

施策目標 1：アイヌ文化の保存・継承・振興

推進施策 1：アイヌ文化の継承と人材育成

R6 予算額 5,010 千円

1 アイヌ文化振興・保存・伝承活動への補助

アイヌ民族の若い世代の交流促進やアイヌの子弟に対する学習会などの学習支援、アイヌ文化に関する啓発活動などといった札幌アイヌ協会が実施する事業に対して補助を行った。

2 インカルシペ・アイヌ民族文化祭への補助

札幌アイヌ協会が開催するペウレアイヌの集い、アイヌ民族シンポジウム、ムックリ・トンコリ大会、アイヌミュージックコンサートに対して補助を行った。

3 アシリチェプノミ保存伝承事業補助（市民文化局文化部）

豊平川河川敷（南 7 条大橋上流左岸）において、アイヌ民族の伝統文化であるアシリチェプノミ（新しい鮭を迎える儀式）を復活することにより、広く市民に理解の輪を広げるとともに、その文化を保存・継承する取組を支援した。儀式では「アイヌ古式舞踊」が披露され、市民等のアイヌ伝統文化理解の貴重な場となっている。

開催日：令和 6 年 9 月 16 日（日） 参加者：250 人

4 アイヌ文化継承関係の担い手育成講座の実施

アイヌ文化の保存・継承・振興に係る活動への意欲喚起及び意欲向上に資する取組として、アイヌにルーツを持つ市民とその家族を対象に、「知的財産権ってなに？～私の作品や商品は大丈夫？～」を開催した。（参加者：8 人）

5 アイヌ高齢者（エカシ・フチ）の知識経験記録事業の実施

アイヌ高齢者（エカシ・フチ）の豊富な人生経験や記憶を残し継承するため、エカシ・フチから聞き取りを行い記録した。（聞き取り人数：1人）

推進施策2：アイヌ民族の伝統的な生活空間（イオル）の再生

R6 予算額 4,446 千円

1 イオル再生事業の実施

アイヌ民族の伝統的な生活空間（イオル）の再生事業として、伝承活動に必要な植物や穀物などの自然素材の育成及び伝統文化の体験講座を実施している。

(1) 自然素材の育成

清田区内の市有地においてヒエ、アワなどの自然素材の栽培及び育成管理を行った。

(2) 体験講座の開催

以下の3講座を実施した。

ア 民具づくり：2回（参加者30人）

1回目：樹皮を使ったポシェット

2回目：エムシアッ（刀を肩から下げる帯）風のミニタペストリー

イ 伝統料理調理：4回（参加者：63人）

ウ 子ども遊び（自然素材を使った弓矢作り）：2回（参加者：20人）

2 アイヌ共用林野設定

南区内の国有林の一部を採取区域とするアイヌ共用林野契約を石狩森林管理署と締結することによって、採取する樹木等の減少により民有林での採取が困難となっている林産物を、アイヌ文化の振興等で利用するために採取することが可能となっている。

施策目標2：アイヌ民族に関する理解の促進

推進施策1：アイヌ民族に関する啓発活動の推進

R6 予算額 23,442 千円

1 アイヌ文化体験講座（市民向け）の実施

アイヌ文化交流センター、区民センター（中央、北、白石、西）、北海道大学構内の各会場にて、刺しゅう、編み物、木彫り、エコツアー等の体験講座を実施した。

年度	開催回数	参加者
R 2	19 回	242 人
R 3	6 回	68 人
R 4	16 回	219 人
R 5	15 回	226 人
R 6	16 回	211 人



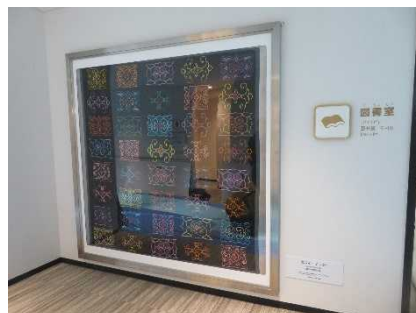
2 大型イベントと連携した情報発信

「2025 さっぽろ雪まつり」大通西5丁目会場において、令和7年2月9日（日）と2月11日（火・祝）の2回、「アイヌ文化PRフェスティバル」としてアイヌ民族の伝統的楽器の演奏や歌、踊り等を披露した。



3 アイヌアートモニュメントの制作・展示

アイヌ民族の伝統文化に対する理解の促進及び関心の喚起を目的として、アイヌ文様タペストリーをJRタワー1階西コンコース、札幌駅前通地下歩行空間、札幌市役所本庁舎1階ロビー、民間施設等に設置している。



令和6年度においては、公募した市民40名がアイヌ刺しゅう作家による指導のもと、タペストリーを共同制作し、中央区民センターに設置した。

4 「イランカラプテ」キャンペーンの推進

国や北海道と連携して取り組む「イランカラプテ」キャンペーンの一環として、市役所本庁舎1階ロビーのタペストリー展示什器に、キャンペーンの大型フィルムシートを継続して設置している。

5 アイヌ文化を発信する空間の管理運営

平成 31 年 3 月に供用を開始した「アイヌ文化を発信する空間（ミナパ）」を活用し、アイヌ文化への理解を深めるきっかけづくりや、リーフレット等の配架により、道内のアイヌ関連施設の情報発信を行っている。

令和 6 年度においては、展示物の入れ替え（新たに瀧口政満氏の作品（無題）を展示し、これまで展示していた荒木繁氏の作品（CUK RERA）をアイヌ文化交流センターへ移設）を実施した。



瀧口政満氏の作品（無題）

6 埋蔵文化財センターにおける展示（市民文化局文化部）

埋蔵文化財センターにおいて、アイヌ文化に関する出土資料を展示している。



7 生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク（環境局環境都市推進部）

アイヌ文化交流センターを「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」の活動拠点の一つとして連携し、前年度に引き続きアイヌ民族の伝統文化や自然観の普及啓発を行った。

アイヌ文化体験講座

R6(2024 年度)							
	講座名		実施日		講師	受講者	会場
1	アイヌ文様刺しゅう	手帳カバー	6/9	日	2 人	18 人	交流セ
2		T シャツ	7/28	日	2 人	16 人	交流セ
3		ミニタペストリー	8/3	土	2 人	17 人	交流セ
4		ばね口ポーチ	9/14	土	1 人	8 人	交流セ
5		トートバッグ	10/12	土	2 人	16 人	交流セ
6		巾着	10/27	日	1 人	7 人	交流セ
7		ばね口ポーチ	12/15	日	2 人	19 人	白石セ
8		ミニタペストリー	1/19	日	1 人	9 人	西セ
9		ランチョンマット	2/16	日	2 人	17 人	北セ
【刺繍 計】					15 人	127 人	
10	編み物	エムシアツ風キーホルダー	11/17	日	2 人	14 人	交流セ
【編み物 計】					2 人	14 人	
11	木彫り	トゥムシ（鎖彫り）の箸	6/23	日	1 人	6 人	交流セ
12		ミニお盆	8/17	土	1 人	10 人	交流セ
13		ミニまな板	10/19	土	1 人	10 人	交流セ
【木彫り等 計】					3 人	26 人	
14	講義等	アイヌ文化を学ぶエコツアー	5/6	月	2 人	17 人	北大
15		アイヌ民族の歴史と文化	7/6	土	1 人	9 人	中央セ
			7/13	土			中央セ
16		アイヌ文化を学ぶエコツアー	10/6	日	1 人	18 人	北大
【講義等 計】					4 人	44 人	
	合計				24 人	211 人	

推進施策2：アイヌ民族の歴史の尊重と教育施策の充実

R6 予算額 30,382 千円

1 小中高校生団体体験プログラムの実施

アイヌ文化交流センターにおいて、小中高校生に伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験、展示解説等を実施した。令和2年度から、送迎バスを無料で運行。

年度	参加校数	参加者
R 2	53 校	3,989 人
R 3	58 校	4,204 人
R 4	75 校	5,600 人
R 5	87 校	6,452 人
R 6	95 校	7,372 人



2 小中高校生団体出前体験プログラムの実施

アイヌ文化交流センターに来館しての体験プログラムの実施が困難な学校に向いて、伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験等を実施。

年度	参加校数	参加者
R 2	59 校	4,376 人
R 3	65 校	4,835 人
R 4	62 校	4,518 人
R 5	64 校	4,808 人
R 6	75 校	5,604 人

3 新任課長職への研修の実施

新任課長を対象として、アイヌ民族の歴史・伝統文化や人権に関する状況、国の動向等について研修を実施した。【市職員研修】

開催日：令和6年11月22日（金）14：15～15：55

開催場所：札幌市アイヌ文化交流センター

参加者：94名

4 新採用職員への研修の実施（総務局職員部）

新採用職員を対象として、アイヌ民族の歴史やアイヌ民族を取り巻く人権に関する

る研修を実施した（動画研修型）。【市職員研修】

開催日：令和6年4月3日（木）、8日（月）、9日（火）、10月9日（水）

開催場所：職員研修センター及び北海道自治労会館 参加者：419人

5 民族教育の充実（ムックリ体験等）

アイヌ民族の歴史・文化等への興味・関心を高めるために、伝統楽器「ムックリ（口琴）」の体験機会を提供した。

実績：ムックリ9,250個を体験プログラム等に参加した各学校に配布

6 職員教材ギャラリー（旧eラーニング）への教材提供

アイヌ民族に対する配慮をより適切に行っていくため、歴史・文化、近年の動き、札幌市の取組などを市職員が自席で学習することができる職員教材ギャラリー（旧eラーニング）に教材を引き続き提供した。【市職員研修】

7 教育センター専門研修（教育委員会学校教育部）

受講を希望する教職員に対して、アイヌ民族の文化や民族教育に関わる研修を実施した。【市職員（教職員向け）研修】

- ・専門研修「アイヌ文化の基礎」

実施日：令和6年8月20日（火）

会場：札幌市アイヌ文化交流センター（受講者：28名）

8 「人間尊重の教育」推進事業（教育委員会学校教育部）

「札幌市学校教育の重点」の基盤に位置付けている「人間尊重の教育」について、3つの視点（「教師自らの人間尊重の意識の向上」、「校種間の連携による連続性のある人間尊重の教育に向けた取組の推進」、「子ども自身が自分を振り返り、人間尊重の意識の高まりに気付く手立ての構築」）に基づいた推進と充実を図った。

(1) 研究推進校における実践研究の実施

「多様な性」、「アイヌ民族に関する学習」、「子どもの権利に係る学習」の3つのテーマに基づき、研究推進校における実践研究を進めた。また、研究推進

校における取組を札幌市ホームページに掲載し、情報提供した。

- (2) 民族教育の充実に向けてアイヌ民族伝統楽器であるトンコリを貸出
令和6年度貸出実績 9校(217本)

9 アイヌ関連図書の特設展示（教育委員会中央図書館）

中央図書館内で定期的に行っている特設展示の中で、アイヌ関連の図書展示を下記のとおり2回実施した。

【1回目】

展示名：アイヌ文化にふれてみよう

期 間：令和6年6月13日～令和6年7月23日

内 容：衣食住に関するものなど、アイヌ文化について紹介する本を約30点展示。

その他：アイヌ施策課と連携し、アイヌ文化交流センター及び同センターへの無料送迎バスについてのチラシを展示図書と共に配架した。

【2回目】

展示名：アイヌの工芸品

期 間：令和6年11月28日～令和7年1月7日

内 容：アイヌの工芸品について紹介する本などを約20点展示。

小中高校生団体体験プログラム（参加した170校の、区ごとの内訳）

【体験プログラム+出前体験プログラム】

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	養護	計
全校数	16	30	28	20	13	22	15	19	20	16	3	202
参加校数	12	25	20	16	12	21	14	18	19	13	0	170
参加率	75.0%	83.3%	71.4%	80.0%	92.3%	95.5%	93.3%	94.7%	95.0%	81.3%	0.0%	84.2%

【体験プログラム】

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	養護	計
全校数	16	30	28	20	13	22	15	19	20	16	3	202
参加校数	6	9	10	8	9	16	3	15	12	7	0	95
参加率	37.5%	30.0%	35.7%	40.0%	69.2%	72.7%	20.0%	78.9%	60.0%	43.8%	0.0%	47.0%

【出前体験プログラム】

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	養護	計
全校数	16	30	28	20	13	22	15	19	20	16	3	202
参加校数	6	16	10	8	3	5	11	3	7	6	0	75
参加率	37.5%	53.3%	35.7%	40.0%	23.1%	22.7%	73.3%	15.8%	35.0%	37.5%	0.0%	37.1%

小中高校生団体体験プログラムの変遷

平成17年度 小中高校生団体体験プログラム開始

平成28年度 小中高校生団体体験プログラムのバス費用一部負担開始

小中高校生団体出前体験プログラム開始

令和2年度 小中高校生団体体験プログラムの無料送迎バス開始

ムックリ無料配布開始

施策目標 3：体験・交流の促進

推進施策 1：札幌市アイヌ文化交流センターの魅力創出

R6 予算額 117,591 千円

1 アイヌ文化交流センターの運営

アイヌ文化の保存・継承・振興や、市民理解の促進を図るため、アイヌ文化交流センターで各種事業を行った。

- (1) アイヌ文化体験講座【P2～3、5】
- (2) アイヌ文化交流センターイベント【P12】
- (3) アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）【P12】
- (4) 小中高校生団体体験プログラム【P6、9】
- (5) 小中高校生団体出前体験プログラム【P6、9】
- (6) アイヌ文化体験コーナー



アイヌ文化交流センターの来館者が気軽にアイヌ文化に触れることができるよう、30 分程度の時間で木彫りや刺しゅう、民族衣装の試着等を行うコーナーを運営した。（午前 10 時～12 時、午後 1 時～4 時）

年度	実施 日数	コーナー参加人数				
		刺しゅう	木彫り (コースター)	ストラップ	ペーパー クラフト	民族衣装体験
R4 (5/17～)	-	538 人 (実施 158 日)	619 人 (実施 131 日)	462 人 (実施 104 日)	-	2,891 人 (実施 251 日)
R5	294 日	677 人	1,096 人	1,988 人	-	4,334 人
R6	296 日	1,045 人	1,365 人	2,843 人	97 人	5,564 人

アイヌ文化体験コーナーの変遷

令和 4 年度 5 月 17 日アイヌ文化体験コーナー開設、制作体験の定員は 1 回 6 名

日替わりで刺しゅう、木彫り、ストラップの制作体験、記念撮影コーナーを実施（～1 月）

毎日 3 つのメニューを実施（2 月～）

令和 5 年度 7 月～10 月の土日は従事者を 2 名とし、制作体験の定員 12 名

令和 6 年度 ペーパークラフト制作体験を導入。

5 月～11 月の土日、夏休み/冬休み期間の従事者を 2 名とし、制作体験の定員 12 名

技術伝承を目的に、5～11 月の平日のうち 1 日は見習従事者が従事

(7) Sapporo City Wi-fi の運用

(8) 多言語による展示物説明

ポケトーク（音声翻訳機 6 台、対象言語 50 以上）と展示ガイドアプリ（ポケット学芸員）の運用

(9) アイヌ食文化の発信

身近な「食」を通じてアイヌ文化への興味を喚起するため、レストコーナーに設置した 2 台のディスプレイで紹介動画を放映。

札幌市公式ホームページ（Youtube チャンネル）で公開している「家庭でできるアイヌ料理」のレシピ（12 本）のリーフレットを配布。

アイヌ文化交流センターの利用状況

年度	開館日数	来館者数	展示室観覧者数
R 2	256 日	26,930 人	10,952 人
R 3	201 日	13,243 人	9,339 人
R 4	288 日	28,458 人	18,802 人
R 5	314 日	41,091 人	24,185 人
R 6	305 日	38,907 人	31,635 人(歴代最多)

2 アイヌ文化交流センターの機能の充実

アイヌ文化を紹介する『アイヌ文化紹介システム』を更新し、令和 7 年 3 月から「アイヌ文化クイズ」の提供を開始した。

機器の老朽化が進んでいた交流ホールの音響システム、展示室の券売機、施設内の電話設備、防犯カメラ及び来館者カウンターについて、入替により機能を強化した。

3 展示物の更新等

アットゥシアミプ(着物)、カチョー(太鼓)、トンコリ(弦楽器)等の破損があった展示物の修繕、及び弓矢等の制作を行った。

4 アイヌ文化交流センター送迎バスの運行

地下鉄真駒内駅とアイヌ文化交流センターを往復する無料送迎バスを令和6年6月から10月まで試験運行した。(1日5往復、合計76日間運行)

推進施策2：アイヌ文化の体験・交流の機会創出

R6 予算額 1,689 千円

1 アイヌ文化交流センターイベントの実施

アイヌミュージック、古式舞踊、切り絵製作体験、昔遊び、仕掛け弓の実演、アイヌ料理の試食等を実施した。

年度	開催回数	参加者
R 2	中止	－
R 3	中止	－
R 4	15 回	880 人
R 5	15 回	1,285 人
R 6	15 回	1,538 人

※R2、3年度は新型コロナウイルスの影響により中止



2 アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）の実施

アイヌ文化交流センターにおいて、来館者等によるアイヌ民族の古式舞踊（輪踊り）の体験を実施した。

年度	開催回数	参加者
R 2	中止	－
R 3	中止	－
R 4	中止	－
R 5	1 回	47 人
R 6	1 回	25 人

※R2～R4年度は新型コロナウイルスの影響により中止



施策目標4：産業等の振興

推進施策1：アイヌ文化のブランド化の推進

R6 予算額 27,211 千円

1 札幌市アイヌ文化PRコーナーの設置

令和6年12月に地下鉄南北線大通駅コンコースの旧大通情報ステーション跡地に札幌市アイヌ文化PRコーナーをサッポロファクトリーから移設し、アイヌ工芸品等常設販売店（PORSE（ポロセ））を設置した。ポロセに併設するアイヌ文化PRスペースでは、ワークショップ（3月2日・14日）、マキリ及びムックリの展示、写真撮影コーナー、「家庭でできるアイヌ料理」リーフレットの配布などを行った。



推進施策2：アイヌ文化に関する観光プロモーションの推進

R6 予算額 7,114 千円

1 ウポポイ・ピリカコタン（アイヌ文化交流センター）周遊バスツアーの実施

アイヌ民族に関する理解の促進に向け、アイヌ文化交流センター及びウポポイを巡るバスツアーを計30回実施した。（参加者：1,071人）

2 アイヌ文化に触れる市内バスツアーの実施

アイヌ民族の歴史や伝統文化について理解を深めるため、札幌市内のアイヌ関連施設（令和6年度は、北大構内とアイヌ文化交流センター）を巡るバスツアーを計2回実施した。（参加者：28人）

3 「シーニックバイウェイ北海道」との連携（南区市民部）

南区内の約40団体（連合町内会、商店街、大学、集客施設等）により構成され、南区の魅力アップとPRを行っている「札幌シーニックバイウェイ」の活動を支援した。

取組の一環として、アイヌ文化交流センターが掲載されている札幌シーニックバイウェイ作成のパンフレット「感動・寄り道 GUIDE」を南区内の公共施設等にて配布した。

施策目標 5：生活関連施策の推進

推進施策 1：生活環境等の整備

R6 予算額 50,572 千円

1 住宅新築資金等の貸付

アイヌ民族の居住環境の整備・改善のため、住宅の新築・改修、宅地取得等の資金を準備した。(新規貸付なし)

2 アイヌ生活相談員・アイヌ教育相談員の配置（市民文化局市民生活部・教育委員会学校教育部）

アイヌ生活相談員 2 名、教育相談員 1 名を配置し、各種相談に対応している。

(1) 生活相談員相談件数：1,227 件

(2) 教育相談員相談件数： 627 件

3 アイヌ民族の児童・生徒への学習支援

アイヌ民族の児童・生徒に対し、夏休み・冬休み期間に各 5 日間の学習支援を行っている。(参加者：延べ 38 人)

4 共同利用館後継施設整備事業

老朽化が進んでいる共同利用館の後継施設確保について検討を進め、令和 6 年度に「札幌市共同利用館後継施設整備基本計画」を策定した。

その他の事務費等

R6 予算額 25,269 千円

指標の達成状況

「第2次札幌市アイヌ施策推進計画」の実施状況を検証・評価し、施策のさらなる充実につなげるため、各施策目標に定めた指標は以下のとおりである。

令和6年度時点で、すでに目標値に達している指標も3項目あり、まだ目標値に達していない指標も年々、目標値に近付いていることが確認できる。引き続き、各種事業を実施することにより、「アイヌ民族の誇りが尊重されるまちの実現」に向け、各種の施策を推進していきたい。

施策 目標	指標項目	当初値 (R2 年度)	R5 年度	R6 年度	目標値 (R12 年度)
1	「個人や団体としてアイヌ語や伝統文化の保存・継承・振興などに取り組んでいるアイヌ民族がいること」について知っている人の割合	63.5%	71.2%	74.5%	80.0%
	伝統文化の担い手育成の仕組みの構築	—	構築中 (講座等実施)	構築中 (講座等実施)	構築
2	アイヌ民族について知っている人の割合	89.1%	96.0%	97.6%	100.0%
3	札幌市アイヌ文化交流センターについて知っている人の割合	36.6%	50.2%	54.3%	60.0%
4	「アイヌ民族独自の伝統的な民芸品があること」について知っている人の割合	73.0%	79.5%	83.6% (目標値超)	80.0%
	アイヌ民芸品の常設的な販売場所の設置	—	—	設置 (目標達成)	設置
5	交流・継承の場の確保 (共同利用館後継施設の確保)	—	—	確保 (目標達成)	確保